1. 館長挨拶

芝浦工業大学図書館
館長 田中 直彦

新型コロナウイルスの影響が長引く中、大学教育の価値、大学図書館の価値が改めて問われることとなった 2020 年度。新たな大学の価値、図書館の価値を認識する年ともなりました。本学図書館がコロナ禍において活動した内容をここにご報告致します。

芝浦工業大学は「社会に学び、社会に貢献する技術者の育成」を建学の精神として、1927 年に創立した東京高等工商学校を起源としています。2014 年 9 月には私立理工系大学として唯一スーパーグローバル大学に選ばれ、建学の精神の実現に向かい着実に歩んでいます。

改めて言うまでもなく、本学の目指すところは、世界に通用する技術者と優秀な研究者の育成にあります。

図書館は、大学の歩みや時代の流れとともに変遷・発展し、2021 年 4 月より情報システム部図書館へと組織変更されました。コロナ禍においては、本学ネットワークを利用することで自宅からの利用が可能となる電子ブックや電子ジャーナル、データベースの活用がとても有効な手段であり、情報システム部との連携は欠かせないものです。図書館は、こうした時代の変遷に適応した組織となりました。

一方で、冊子体の需要が大きいのも事実です。コロナ禍において 2020 年度に図書館が対応した書籍の宅配サービス（費用図書館負担）を通じて学生・教職員へ送付した書籍は、14,888 冊にも上ります。学生に大変好評の宅配サービスは、結果として図書館広報の一環にもなりました。

このように、コロナ禍であっても図書館と利用者がつながり、皆に親しまれ活用されていることはご理解いただけると思います。しかし、現状に甘んじることなく、世界水準の教育研究拠点にふさわしい役割を担うべく、創立 100 周年に向け更に進化しなければなりません。その目標に向かい、図書館員一丸となって邁進します。2021 年度は、豊洲図書館の拡張計画を進め、ポストコロナにも対応した新たな図書館の構築を目指します。また、Scomb（学内ネットワーク）を活用して学生の要望をタイムリーに取集し、図書館運営に反映させます。

これまで、図書館が何をやっているのか見えてこないというご意見をいただくことがありました。これまでは四半期ごとの「OH! MY LIB CAFE(芝浦工業大学図書館ニュースレター)」発行の他、各種企画や展示情報等の発信に努めてまいりました。これに加え、ホームページで図書館年報を公開し、業務の「見える化」を進めます。

未だ不充分な点、改善すべき点は多々ありますが、皆さまに叱咤激励をいただきながら改革していく所存です。図書館の活動にご理解を賜り、より良い図書館運営を行うべく、引き続きご指導、ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。